

愛知県立芸術大学大学院

学位論文評価基準

(美術研究科)

博士前期課程学位論文評価基準

- ・ 修士論文は申請者が独自に設定したテーマを追求したものであること。
- ・ 学術的に意義のあるテーマ設定であること。
- ・ 先行研究を踏まえた上で、独自の知見を有するものであること。
- ・ 理論的または実証的分析ならびに論述形式が妥当であること。
- ・ 文献の引用方法などが適切で、論文としての形式を整えていること。
- ・ 論文の形式・分量についての細目は別に定める。

博士後期課程学位論文評価基準

●実技系研究

- ・ 研究テーマが各分野の現状に対して独自で意義を有すること。
- ・ 独創的な研究であること。
- ・ 作品の創作・実践における技術・方法が論理的・実証的に分析されていること。
- ・ 歴史的考察、参考資料・文献などの引用が適切で、論旨・主張との整合性・一貫性をもつこと。
- ・ 論文の形式・分量についての細目は別に定めるが、内容を担保する図版・図表なども適切であること。

●理論系研究

- ・ 研究テーマはその分野の現状に対して学術的意義があり適切であること。
- ・ 新しい知見を有するものであること。
- ・ 先行研究をよく調査し、理論的・実証的分析が妥当であること。
- ・ 参考資料・文献などの引用が適切で、論旨・主張との整合性・一貫性をもつこと。
- ・ 論文の形式・分量についての細目は別に定める。

(音楽研究科)

博士前期課程学位論文評価基準

- ・ オリジナリティーが認められる内容であること
- ・ 当該研究分野について学識を有すると認められる内容であること
- ・ 当該研究分野の進歩に寄与すると認められる内容であること
- ・ 当該学生が研究遂行能力を有すると認められる内容であること
- ・ 学術論文に適切な書式等に則っていること

博士後期課程学位論文評価基準

- ・ 当該研究分野において新たな知見をもたらし、当該研究分野の進歩に寄与すると認められる内容であること
- ・ 当該研究分野において研究者として自立した十分な研究遂行能力を有し、それを支える深い学識を有すると認められる内容であること
- ・ 論文の主題の究明に学問的な意義を有し、先行研究の十分な検討、文献、資・史料への的確な出典明示等の学術的手法に則る内容であること